

市政のしおり

(平成24年度)

門真市議会事務局

市 章



門真市の三つの文字を組み合わせる図案化したもので、今後の当市の発展を象徴するとともに、飛び立たんとする鳥を表したものです。

(昭和38年10月1日制定)

市 の 木

楠 (クスノキ)

市内には数多くの楠があります。昭和13年、国の天然記念物に指定された樹齢1000年といわれる三島神社の「薫蓋のクス」(薫蓋樟)に代表される楠は、市内の神社仏閣等各所でその雄姿を見ることができ、広く市民に親しまれています。

(昭和48年10月1日選定)



市 の 花

さ つ き

さつきは古来より日本に原生し、春には暖かい陽光を浴びかわいい花を咲かせます。江戸時代から長年にわたって行われた品種改良は、市民一人ひとりの創意、工夫、努力を、またその寄り添い咲く美しさは、市民一人ひとりの協力と連帯感を象徴しています。

(昭和48年10月1日選定)



門真市民憲章

(昭和48年10月1日制定)

わたくしたち門真市民は、恒久の平和を求め、自由と平等を愛し、伸びゆく門真市を支える市民であることに自覚と誇りをもちます。

そして、わたくしたちは、人間の尊厳と住民の自治を重んじ、互いの信頼と協力で結ばれた、明るく豊かな住みよいまちをつくるため、市民の総意でこの憲章を定めます。

1. わたくしたちは、美しい緑を愛し、公害や災害のない、健康で文化的な生活が営める清潔な環境をつくります。
1. わたくしたちは、若い力を育て、老人を敬愛し、心身障がい者（児）をばげまし、互いに助けあって市民福祉をすすめます。
1. わたくしたちは、郷土の伝統を知り、文化財を守り、教養を高めて新しい文化をつくります。
1. わたくしたちは、働くことによるこびと誇りをもち、希望にみちた健全な家庭をきずきます。
1. わたくしたちは、市政に深い関心をもち、批判と協力を惜しまず積極的に参加します。

市歌

(昭和39年10月1日制定)

安西冬衛 作詩

大阪音楽大学 飯田正紀 作曲

一、まゆ ほが いこま れんざん
眉に朗ら 生駒連山
あした あお まちかど
朝に仰ぐ わが市門真
じりつ せいしん おこ
自立の精神 われらは興す
せんねんふくし へいわ みやこ
千年福祉の平和の都
おお 門真
おお 大門真
いのち幸あれ
とわに とわに とわに
三、かぜ きら
風に燦ら つばさのしるし
うちゅう まちかど
宇宙をひらく わが市門真
むげん ほん
無限の発展 われらはめざす
えいせん ひやく きぼう
永遠飛躍の希望の都
おお 門真
おお 大門真
ゆくて明日あれ
とわに とわに とわに

二、みち あら いちろ けいはん
道は新た 一路京阪
せかい かぶ まちかど
世界に通う わが市門真
りっし さんぎょう きお
立市の産業 われらは勢う
せいさん ぶんか せいぎ みやこ
生産文化の世紀の都
おお 門真
おお 大門真
ひかり栄あれ
とわに とわに とわに

名 譽 市 民

松下 幸之助



称号贈呈日 昭和39年10月1日
明治27年、和歌山市生まれ。言わずと知れた「経営の神様」。大正7年に「松下電気器具製作所」を設立。昭和8年に門真に本社や工場をつくり、事業を拡大していきました。その後も度重なる危機を斬新な経営で乗り越え、その地位を不動のものにしました。また、幅広い社会活動も行い、企業家・文化人として国内外に多大な影響を与えました。(平成元年没)

中塚 種夫



称号贈呈日 昭和48年10月1日
初代門真市長。明治30年門真村生まれ。27歳の若さで門真村の助役に就任。門真村議会議員、大阪府議会議員、門真村長・町長を経て、門真市長となりました。海外2都市と姉妹都市提携を結び、当時、例になかった官民一体による「門真プラザ」の建築に着手するなど、門真の発展に力を注ぎました。また、府や国の要職にもつき活躍しました。(昭和61年没)

門真市イメージキャラクター

ガラスケ

平成24年に市民による選抜投票を行い、門真市イメージキャラクター「ガラスケ」を決定しました。ガラスケは門真の民話「おすまさんと笑い猫」に登場する猫であり、おすまさんが客に「おおきに」というと、ガラスケは「ガラガラ」と愛想笑いをし、ときには手招きをして客を呼んだりもしました。ガラスケはこの店の福猫として評判で、ガラスケを元にした人形が招き猫の元祖であったとされています。

